

第十三回企業活性化研究分科会・議事録

<第十三回 2008年8月30日(土) 13:30~17:00 於:専修大学(神田校舎)>

1. 参加者:太田、山本、井端、古山、大柳、横山、菅原、宮川、齋藤、酒井、杉本

2. テーマ:企業活性化に関する研究

3. 発表内容

テーマ:『*継続企業の前提の注記規準に関する分析(3)*』

- ・ 報告者:大柳 康司(専修大学)
- ・ 配布資料:レジュメ2枚、分析資料6枚、参考資料5枚
- ・ 報告内容の要旨

本報告では、前回報告した分析のサンプルに問題があったため、株主資本比率、使用総資本経常利益率、増収率、一株当たり簡易版CFの4変数を用いて再度同様の分析を行い、新たにサンプル企業を選び出した。その結果、60社の中から22社のエラー企業を発見し、そのうちのTYPE1企業(継続企業の前提に疑義があるにもかかわらず、モデルで問題のないグループに分類された企業)が8社とTYPE2企業(継続企業の前提に疑義がないにもかかわらず、モデルで問題のあるグループに分類された企業)が13社に分類することができた。

今後の研究では、エラー企業をメンバーに割振り、企業を財務、非財務の側面から継続企業の前提に関する注記が付された原因を分析していく。

4. その他

次回の日程

- ・ 9月20日(土) 専修大学神田校舎 782教室 13:00から

(文責:杉本敦彦)